

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

第1四半期決算の概要（連結）
トピックス
通期の業績見通し

日本光電工業株式会社

銘柄コード：6849
2026年8月6日

1) エグゼクティブサマリー

1Q実績

前年同期比 売上高 $\triangle 5.2\%$ (国内 $\triangle 15.0\%$ アボット製品除く $+0.3\%$ 、
海外 $+10.3\%$ 為替影響除く $+1\%$)
営業損失 9億円 (前年同期は14億円の営業利益)

■ 売上高

国内： アボット製品終了影響を除く実質ベースでは前年同期並み。
自社品は堅調に推移。アボット製品が減少し、現地仕入品の抑制も進む
海外： 欧州、アジア州他で好調に推移し、二桁成長。
北米、中南米では現地通貨ベースで前年同期を下回る

■ 営業損失： 国内での減収に加え、賃上げ対応等により販管費が増加

通期見通し

(期初予想を据え置き)

■ 売上高

2,325億円

国内： アボット製品終了・ドウエル社連結の影響除く $+8\%$ 。自社の製品・消耗品・サービスの販売に注力
海外： 円ベース $+9\%$ 、現地通貨ベース $+9\%$ 。全ての地域で増収を目指す

■ 営業利益

235億円

アボット製品終了に伴う減収影響はあるものの、粗利率は商品ミックスの良化により改善する見込み。
販管費は、賃上げ等による人件費、社内ITシステム投資等に伴う減価償却費が増加する見込み。
全社収益改革の3つの領域における施策展開を継続

2) 決算概要

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
売上高	50,020	47,405	- 5.2
国内売上高	30,686	26,080	- 15.0
海外売上高	19,334	21,325	10.3
売上総利益 (売上総利益率)	26,316 52.6%	25,459 53.7%	- 3.3
販管費 (販管費率)	24,915 49.8%	26,442 55.8%	6.1
営業利益 (営業利益率)	1,400 2.8%	- 983 —	—
経常利益	473	- 339	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	137	- 756	—

← アボット製品除く：+0.3%

← 為替影響除く：+1%

← 為替差損益：差損10億円 → 差益5億円

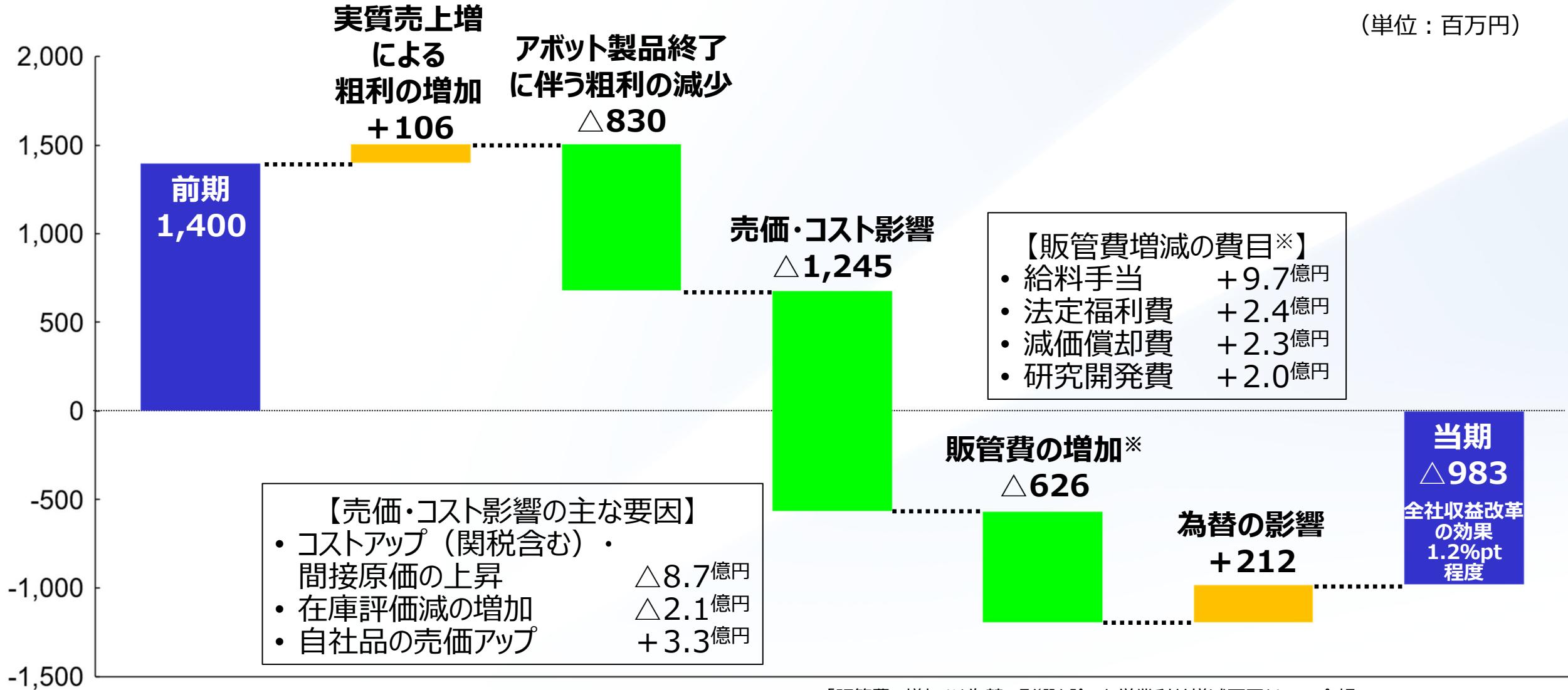
平均レート (円)
1米ドル/1ユーロ

146.3/162.7

159.4/185.4

3) 営業利益増減の要因分析

(単位：百万円)



※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
 「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高 (アボット製品除く)

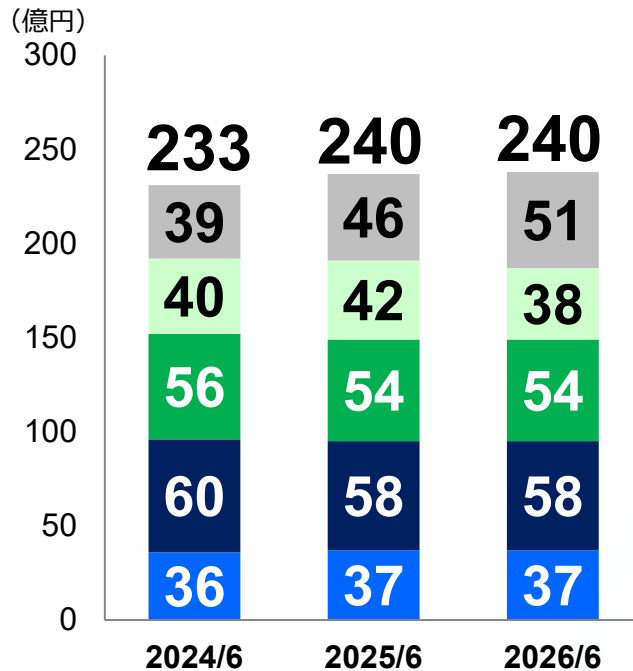
【市場別売上高】

【自社品/他社品売上高】

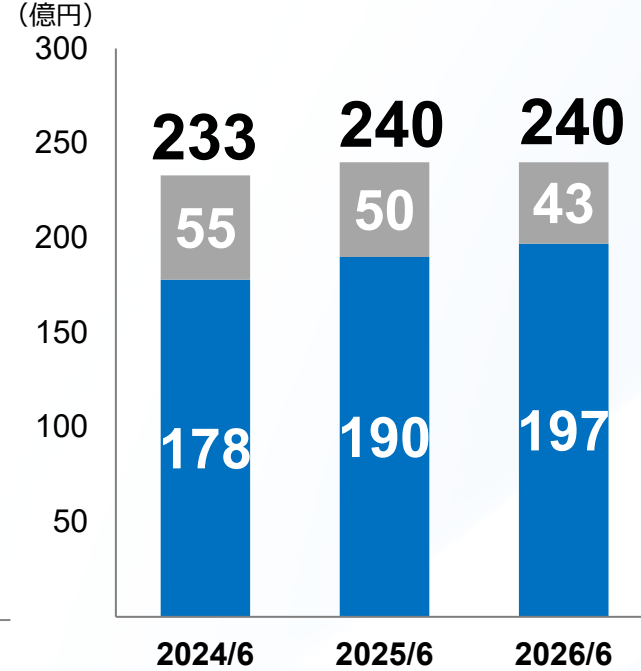
【商品群別売上高】

(単位：百万円)

■ 大学 ■ 官公立病院 ■ 私立病院 ■ 診療所 ■ その他



■ 自社品 ■ 他社品



国内売上高 (アボット製品除く)	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
生体計測機器	3,990	4,276	7.2
生体情報モニタ	8,482	8,997	6.1
治療機器	5,272	4,697	- 10.9
その他	6,280	6,122	- 2.5
売上高合計	24,027	24,093	0.3

(参考)

医療機器	9,328	9,907	6.2
消耗品・サービス	14,698	14,186	- 3.5

【市場別】 大学、官公立病院、私立病院市場では前年同期並みを確保。診療所市場では減収

【商品群別】 **自社品/他社品：** 自社品は、臨床情報システム、診断情報システムが好調に推移。他社品は、画像診断装置、現地仕入品が減収

生体計測機器： 診断情報システムが二桁成長。心電計群、脳神経系群も堅調に推移

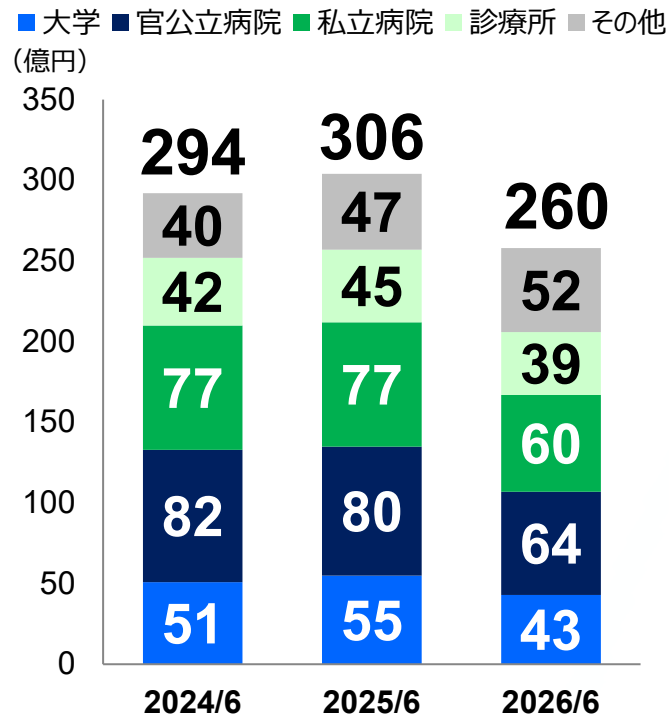
生体情報モニタ： 臨床情報システムが大幅増収となったほか、送信機が新製品効果もあり好調に推移

治療機器： AEDが好調だった前年同期を下回る

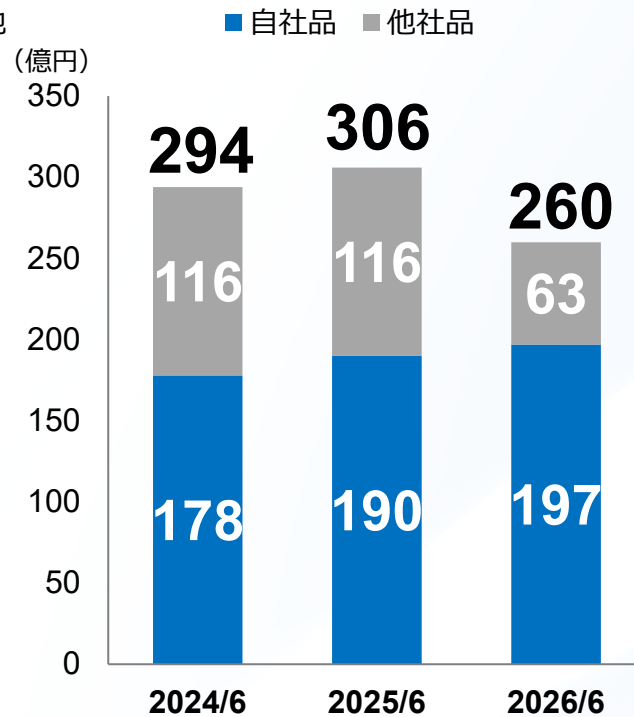
その他： 画像診断装置、現地仕入品が減収。検体検査装置・試薬は好調に推移

[参考] 国内売上高 (アボット製品含む)

【市場別売上高】



【自社品/他社品売上高】



【商品群別売上高】

(単位：百万円)

国内売上高 (アボット製品含む)	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
生体計測機器	8,492	5,652	- 33.4
生体情報モニタ	8,482	8,997	6.1
治療機器	7,430	5,307	- 28.6
その他	6,280	6,122	- 2.5
売上高合計	30,686	26,080	- 15.0

(参考)

医療機器	9,911	10,097	1.9
消耗品・サービス	20,774	15,982	- 23.1

うちアボット製品 売上高	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
生体計測機器	4,501	1,376	- 69.4
治療機器	2,157	610	- 71.7
売上高合計	6,658	1,986	- 70.2

(参考)

医療機器	582	190	- 67.3
消耗品・サービス	6,076	1,795	- 70.4

【アボット製品の業務引継ぎ】 26/6末までに80%程度完了、
26/9末までに95%程度完了予定

5) 海外売上高

【海外売上高】 前年同期比 + 10%
(為替影響除く: + 1%)

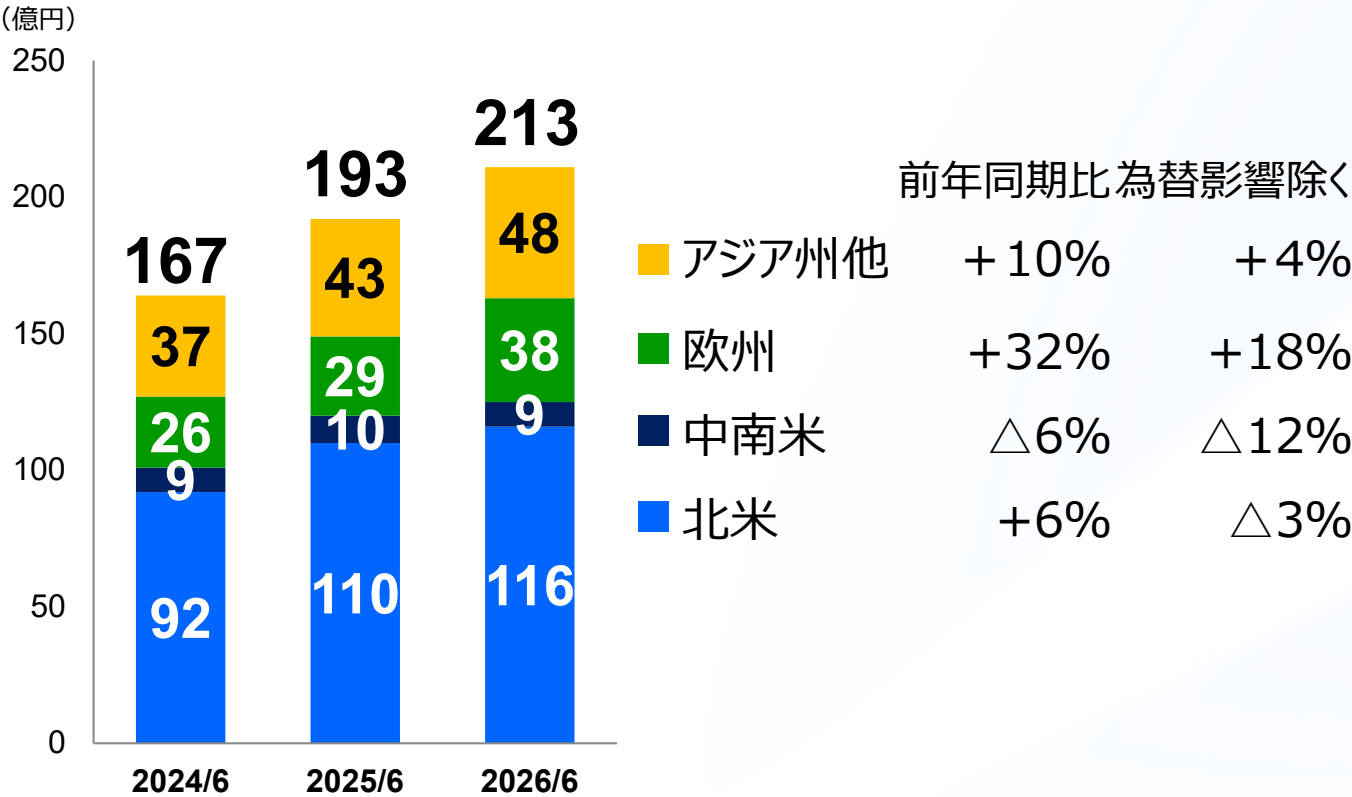
【海外売上高比率】

2026/3 1Q	2027/3 1Q
38.7%	45.0%

【地域別売上高】

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)



	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)	為替影響 除く (%)
生体計測機器	4,108	4,229	2.9	- 4
生体情報モニタ	7,883	8,358	6.0	- 3
治療機器	5,628	6,905	22.7	12
その他	1,713	1,831	6.9	- 0
売上高合計	19,334	21,325	10.3	1

(参考)

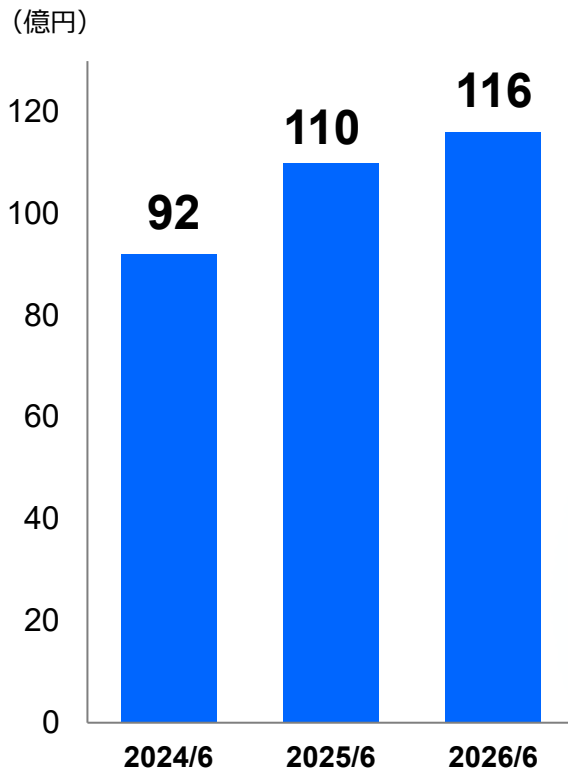
医療機器	11,945	12,722	6.5	- 3
消耗品・サービス	7,388	8,602	16.4	8

【地域別】 欧州で大幅増収、アジア州他でも好調に推移。北米、中南米では現地通貨ベースで前年同期を下回る
【商品群別】 **生体計測機器**：欧州、中南米で大幅増収も、アジア州他で減収、北米も現地通貨ベースで前年同期を下回る
生体情報モニタ：欧州で大幅増収も、現地通貨ベースでは北米、中南米、アジア州他で前年同期を下回る
治療機器：欧州、アジア州他で大幅増収、北米でも二桁成長

5.1) 北米

- 現地通貨ベースで前年同期を下回るも、円ベースでは増収
- AED、生体情報モニタ、脳神経機器が現地通貨ベースで前年同期を下回る。人工呼吸器は大幅増収

前年同期比 +6%
(為替影響除く△3%)



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

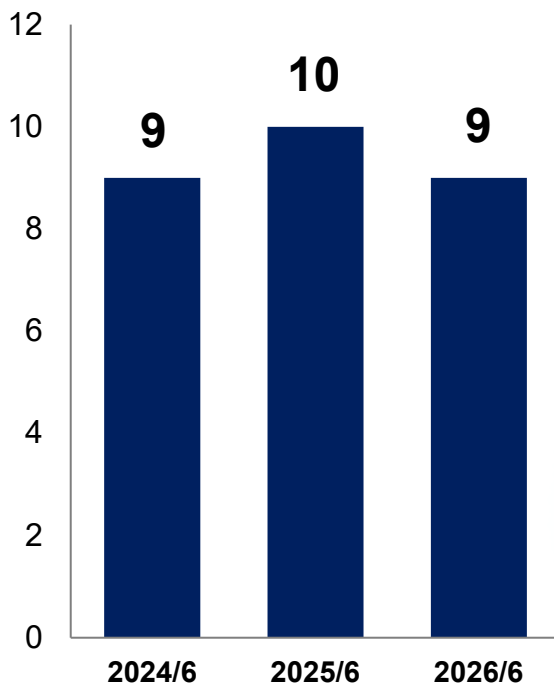
- **生体計測機器** : △1桁半ば
脳神経機器が好調だった前年同期を下回る
- **生体情報モニタ** : △1桁半ば
機器が減収となった一方、センサ類など消耗品は二桁成長
- **治療機器** : +1桁前半
人工呼吸器が大幅増収。AEDは前年同期を下回る
人工呼吸器はマスク型に加え、気管挿管型も好調に推移

5.2) 中南米

- 前年同期に好調だったグアテマラ、パラグアイを中心に減収。メキシコは大幅増収

前年同期比△6%
(為替影響除く△12%)

(億円)



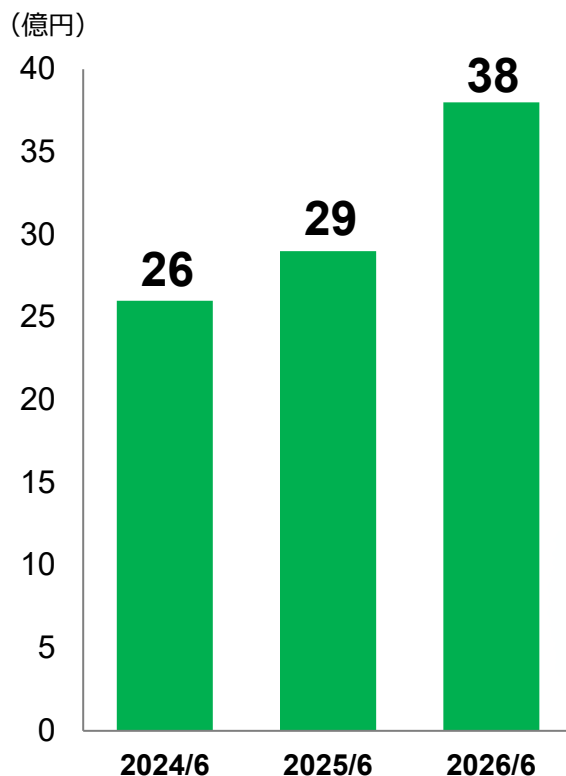
【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器** : +20%台後半
脳神経系群が大幅増収。心電計群は減収
- **生体情報モニタ** : △40%台後半
前年同期に好調だったペルー、ブラジル、グアテマラを中心に減収
- **治療機器** : △10%
除細動器、人工呼吸器が前年同期を下回る。AEDは増収
- **その他** : +20%台前半
メキシコで医療機器の保守サービスが伸長

5.3) 欧州

- オランダ、ドイツに加え、大口商談を獲得したギリシャ、ポーランドを中心に大幅増収

前年同期比 + 32%
(為替影響除く + 18%)



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

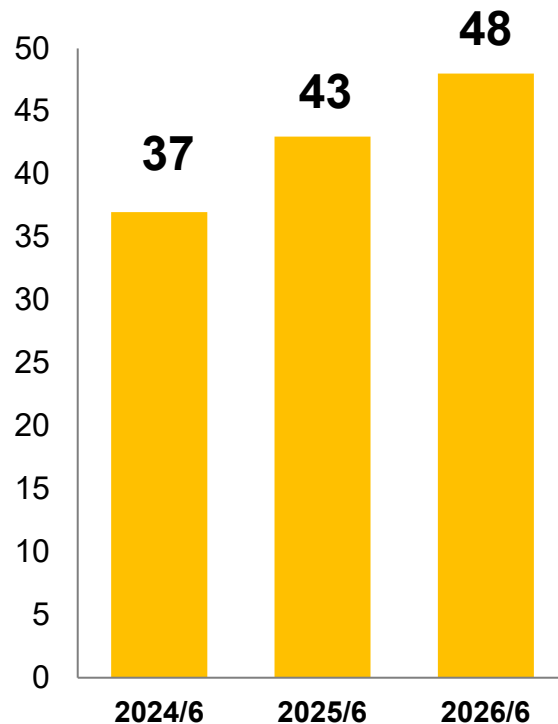
- **生体計測機器** : + 30% 台後半
ギリシャで大口商談を獲得した心電計が大幅増収
- **生体情報モニタ** : + 10% 台前半
大口商談を獲得したポーランドに加え、ドイツも好調に推移
- **治療機器** : + 30% 台半ば
オランダを中心にAEDが大幅増収
- **その他** : △ 40% 台後半
検体検査装置・試薬が減収

5.4) アジア州他

- 中近東・アフリカ（サウジアラビア、エジプト、UAE）、インドを中心に二桁成長

前年同期比 +10%
(為替影響除く +4%)

(億円)



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器** : △20%台後半
脳神経系群、心電計群ともに好調だった前年同期を下回る
- **生体情報モニタ** : △1桁前半
タイを中心に好調だった前年同期を下回る
- **治療機器** : +20%台前半
サウジアラビアで大口商談を獲得した除細動器が大幅増収
AED、人工呼吸器も好調に推移
- **その他** : +10%台半ば

[参考] 商品群別売上高・粗利率

(単位：百万円)

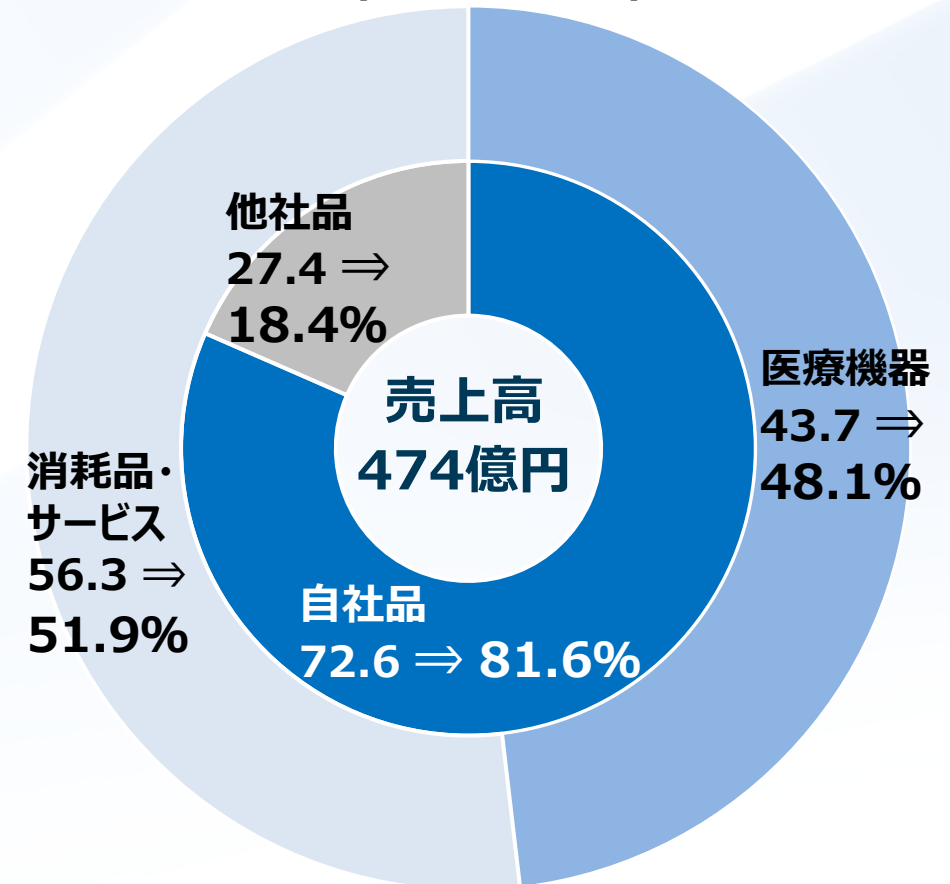
	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)	アボット製品 除く (%)
生体計測機器	12,600 (45%)	9,882 (50%)	- 21.6	5.0
生体情報モニタ	16,366 (66%)	17,356 (63%)	6.0	—
治療機器	13,058 (44%)	12,213 (45%)	- 6.5	6.4
その他	7,994 (50%)	7,954 (52%)	- 0.5	—
売上高合計	50,020 (53%)	47,405 (54%)	- 5.2	4.7

(参考)

医療機器	21,856 (55%)	22,820 (54%)	4.4	6.4
消耗品・サービス	28,163 (51%)	24,585 (54%)	- 12.7	3.2

※ 表の括弧内は、粗利率を示しています。

商品群別売上構成比 (2025/6 ⇒ 2026/6)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位：百万円)

生 体 計 測 機 器	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
脳 神 経 系 群	3,747	3,695	- 1.4
心 電 計 群	1,419	1,494	5.3
心臓カテーテル検査装置群*	4,764	1,623	- 65.9
診 断 情 報 シ ス テ ム 群	1,223	1,363	11.4
そ の 他 ※	1,445	1,706	18.0

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
医 科 向 け 除 細 動 器	1,839	2,075	12.8
A E D	6,229	6,418	3.0
人 工 呼 吸 器	2,329	2,862	22.9
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D *	731	243	- 66.8
そ の 他 *	1,929	614	- 68.2

生 体 情 報 モ ニ タ	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
生 体 情 報 モ ニ タ 合 計	16,366	17,356	6.0
うち 臨床情報システム群	773	1,460	88.8

そ の 他	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減率 (%)
検 体 検 査 装 置	3,018	3,311	9.7
画 像 診 断 装 置 他 ※	4,976	4,642	- 6.7

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

*2026年12月末に取り扱い終了予定のアボット製品を含みます。

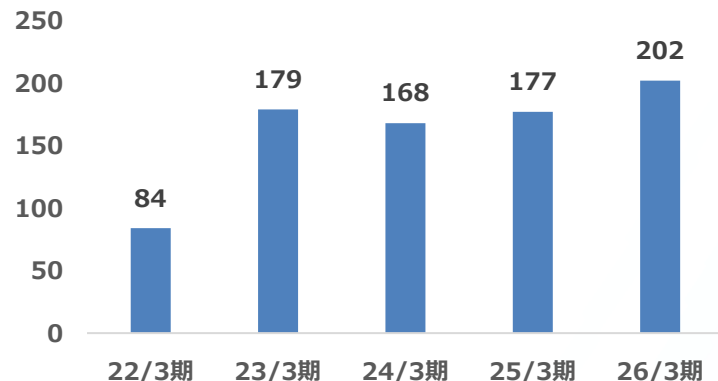
6) トピックス

成長性

製品競争力の強化

アラームレポート新規契約施設数 (日本)

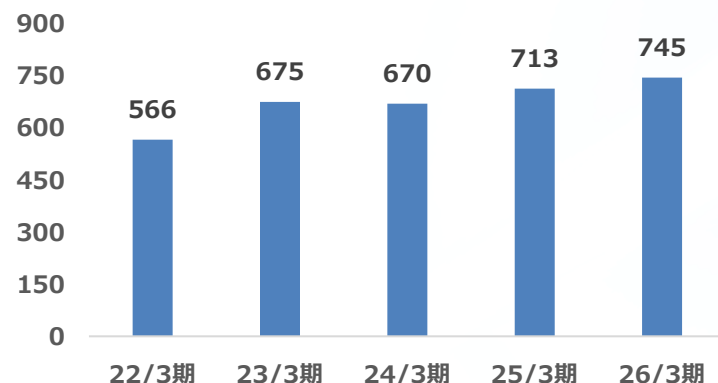
アラームマネジメント
の高度化



MD Linkage接続台数 (日本・海外)

※ 接続機種：検体検査装置、人工呼吸器、セントラルモニタ、除細動器

遠隔監視システムの
普及



26/3期-27/3期 主な新製品・サービス

NEW!

アラームソリューション AlarmSense

26/3期2Q：米国、
27/3期：欧州（予定）

- ・ 病院全体でアラーム傾向を分析・表示

NEW!

オンサイトアラーム分析 ソフトウェア QP-841N

26/3期4Q：日本

- ・ 患者さんごとにアラーム発生状況・原因をリアルタイム分析

医療従事者の
業務負荷軽減

NEW!

全自動血球計数・免疫反応測定装置 MEK-1303セルタックα+用 + Dダイマーライセンス QL-131W

27/3期1Q：日本

- ・ Dダイマー※1をCBC ※2と同時に測定可能



※1 Dダイマー：血栓が形成された可能性を把握するために有用
※2 CBC（Complete Blood Count）：全血球計算値

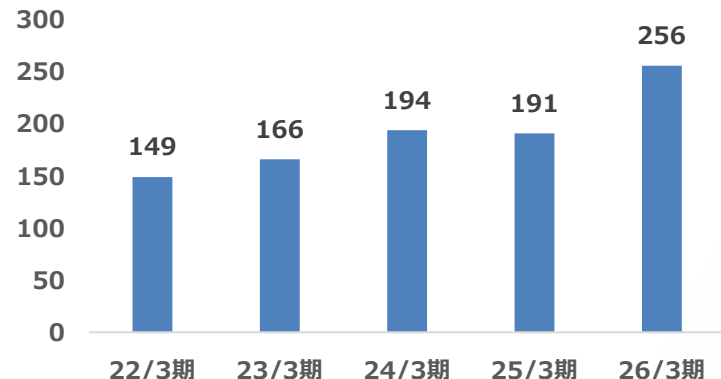
サービス事業の
拡大

安定収益基盤
の確保

(参考) サステナビリティ マテリアリティ・KPIの実績を開示（26年7月）

DX導入施設数 (日本)

※患者容態把握ダッシュボードソフトウェア、
遠隔ICUシステム、クラウドサービス対応型機種



DHS構想の推進

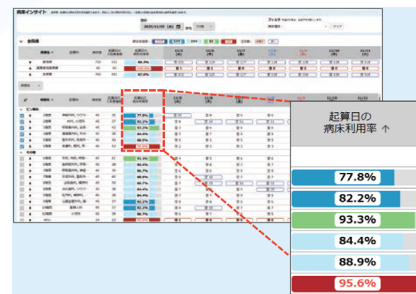
26/3期-27/3期 主な新製品・サービス

NEW!

入退院業務支援ソフトウェア QP-842N

26/3期4Q : 日本

- 入退院・転棟など
病床管理に必要な情報を
自動取得・集約・可視化



遠隔モニタリングソリューション RemoteSense

25/3期 : 米国

- 複数医療機関の患者さんの
バイタルサインをWebで閲覧
可能

26/3期 : 4施設導入 (米国)

患者容態把握ダッシュボード ソフトウェア QH-101N

25/3期 : 日本

- バイタルサインから
早期警戒スコアを演算・表示
(一般・重症病棟向け)

26/3期 : 4施設導入 (日本)

クリニカルアシスタントサービス PrimeBridge

25/3期 : 検査室プラン (日本)

26/3期4Q : 病棟プラン、麻酔記録連携プラン
を追加 (日本)

NEW!

- 患者情報を一元管理、院内外で参照
可能。ニーズに合わせプランを選択可能

26/3期 : 19施設導入 (日本)

医療従事者の
業務負荷軽減

病床稼働率の
向上
在院日数の
短縮

病院経営の
効率化
医療経済性の
向上

ソリューション
事業の拡大

安定収益基盤
の確保

(参考) サステナビリティ マテリアリティ・KPIの実績を開示 (26年7月)

27/3期
目標 営業利益率改善
5%pt

- ✓ 25/3期 : 0.8%pt ⇒ 26/3期 : 3.0%pt (前期比+2.2%pt)
- 27/3期 : 4.5%pt (前期比+1.5%pt)
- ✓ 5%pt改善に向け、引き続き3つの領域における施策展開を継続

人員生産性の向上

これまで

営業活動
計画

- 顧客情報を複数システムで管理し、確認・共有に時間を要す

提案・
商談

- 商談毎の活動状況・情報更新が属人化
- 営業員の経験・スキルに依存

アフター
サービス

- 顧客情報が関係部門の間で分断
- 対応履歴を複数システムで管理

これから

新CRM※の稼働 (日本)

26年7月

顧客情報を一元管理

営業ターゲティングの質向上

知識・スキル・ナレッジをチームで共有

質の高い顧客価値提案

顧客対応履歴を集約・蓄積

問合せ・不具合対応を迅速化

営業・サービス・カスタマーセンタが一体となり
CX (顧客体験) を向上



自社開発AIアプリ



日報分析アプリ

KPIダッシュボード

営業データの可視化・分析



日報音声入力アプリ

日報作成の効率化



営業サポートアプリ

見積作成の効率化



営業ロープレアプリ

提案力向上を支援



製品Q&Aチャットボット

製品情報を迅速回答

業務効率化

27/3期目標 :

6万時間/年

- 顧客情報の確認時間を短縮
- 入力業務を簡便化
- 部門間での情報共有を簡便化・効率化 等

需要予測の精度向上

- 商談情報の登録・更新・共有を徹底
- 売上見込みの精度向上

※ CRM (Customer Relationship Management) : 顧客関係管理。営業活動を組織化・効率化するSFA (Sales Force Automation) 機能を含む

7) 財政状態

(単位：百万円)

	2026/3 前期末	2027/3 1Q末	増減額
流動資産	177,808	167,306	- 10,502
棚卸資産	55,992	56,174	182
有形固定資産	32,250	31,654	- 596
無形固定資産	27,222	27,016	- 206
投資その他資産	19,256	20,181	924
資産合計	256,538	246,158	- 10,380

	2026/3 前期末	2027/3 1Q末	増減額
流動負債	49,428	42,056	- 7,372
有利子負債	50	50	—
固定負債	27,286	26,811	- 475
有利子負債	22,388	21,750	- 638
純資産	179,824	177,291	- 2,533
負債・純資産合計	256,538	246,158	- 10,380

棚卸資産回転月数 (ヵ月)	5.9	6.0
------------------	-----	------------

自己資本比率	70.1%	72.0%
--------	-------	--------------

【流動資産の減少の理由】

受取手形及び売掛金 △161億円

【流動負債の減少の理由】

支払手形及び買掛金 △35億円
賞与引当金 △31億円

8) キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減額
I 営業 C F	5,911	8,141	2,229
II 投資 C F	- 1,160	- 328	831
F C F	4,750	7,812	3,061
III 財務 C F	- 2,582	- 3,193	- 611
換算差額	- 1,017	374	1,391
増減額	1,151	4,993	3,841
期末残高	44,213	50,630	6,417

	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減
税金等調整前四半期純利益	4億円	△3億円	△7億円
売上債権の増減額 (増加：△)	137億円	159億円	+21億円
棚卸資産の増減額 (増加：△)	△28億円	3億円	+31億円
仕入債務の増減額 (減少：△)	△10億円	△39億円	△28億円
法人税等の支払額	△35億円	△9億円	+26億円

	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減
配当金の支払額	△25億円	△25億円	+0億円

9) 設備投資と研究開発費

(単位：百万円)

	2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減額	2026/3 実績	2027/3 計画
設備投資	859	395	- 464	7,807	6,000
減価償却費	1,060	1,281	220	4,757	6,000
研究開発費	1,585	1,791	206	7,453	7,700

● 2027/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、新CRM※¹の導入

PLM/MES※²システム

設備投資額：約30億円

< 23/3：3億円、24/3：5億円、25/3：9億円
26/3：9億円、27/3：3億円～

PLMシステム：2025年9月稼働
MESシステム：2025年11月稼働

鶴ヶ島生産センタ

総投資額：約110億円

< 23/3：23億円（土地取得）、～25/3：41億円
26/3：29 億円（建屋・設備等）
27/3：3億円（設備等）～

着工：2024年7月
建屋竣工：2025年10月
稼働：2026年3月

※1 CRM（Customer Relationship Management）：顧客関係管理。営業活動を組織化・効率化するSFA（Sales Force Automation）機能を含む

※2 PLM（Product Life-cycle Management）：製品ライフサイクル管理、MES（Manufacturing Execution System）：製造実行システム

10) 通期業績見通し

	2026/3 実績	2027/3 予想	増減率 (%)
売上高	235,099	232,500	- 1.1
国内売上高	144,406	133,500	- 7.6
海外売上高	90,693	99,000	9.2
売上総利益 (売上総利益率)	121,726 51.8%	129,000 55.5%	6.0
販管費 (販管費率)	102,981 43.8%	105,500 45.4%	2.4
営業利益 (営業利益率)	18,745 8.0%	23,500 10.1%	25.4
経常利益	22,544	23,500	4.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,513	15,000	3.4

(単位：百万円)

← アボット製品終了、ドウエル社連結影響除く：+8%

← 為替影響除く：+9%

【地域別海外売上高】

	2026/3 実績	2027/3 予想	増減率 (%)
北米	49,808	56,300	13.0
中南米	5,613	6,200	10.4
欧州	13,649	13,800	1.1
アジア州他	21,621	22,700	5.0
海外計	90,693	99,000	9.2

海外売上高比率	38.6%	42.6%
---------	-------	-------

平均レート (円) 1米ドル/1ユーロ 150.5/174.2 150/175

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2026/3	2027/3	増減率 (%)
	実績	予想 構成比 (%)	
生 体 計 測 機 器	53,636	41,200	17.7
生 体 情 報 モ ニ タ	84,258	92,300	39.7
治 療 機 器	56,286	54,900	23.6
そ の 他	40,918	44,100	18.9
売 上 高 合 計	235,099	232,500	100.0

(単位：百万円)

←アボット製品終了影響除く： +6%

←ドゥエル社連結影響除く： +8%

←アボット製品終了影響除く： +10%

(参考)

医 療 機 器	115,996	126,500	54.4	9.1
消 耗 品 ・ サ ー ビ ス	119,103	106,000	45.6	- 11.0

←アボット製品終了影響除く： +7%

為替感応度の概算値（年間）

	売上高	営業利益
米 ド ル	5.2億円	1.8億円
ユ ー ロ	0.6億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。

同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003